

のびのび乃木っ子

松江市立乃木小学校
特別支援教育だより
令和5年5月10日

新しい学年、学級になって1か月あまりたちました。どの学級も新しい友達や先生にも慣れて、順調に学校生活を送っています。連休で少しリフレッシュし、再スタートしましたが、6月に運動会をひかえ忙しい毎日になりそうです。

これから運動会に向かって全校で活動する場面もあり、普段と違う動きに戸惑う子どもたちもいることでしょう。

子どもたちは一生懸命活動に取り組むことと思いますが、無理をしたり、不安に感じたりすることもあるかもしれません。

学校でも様子をしっかりと見ていきますが、ご家庭でも温かい声かけをお願いします。



授業公開・PTA 総会において

本日は今年初めての授業公開でした。新しい学級での学習の様子はどうだったでしょうか？
たくさんの保護者のみなさんが参観される中、子どもたちは緊張しながらも張り切って学習に取り組んでいたと思います。今後とも子どもたちがしっかりと活動、学習できるように支援していきます。

PTA 総会において、学校や PTA の様々な活動について説明がありました。その中で、特別支援教育に関する説明をしましたので、その概要をお伝えします。

学校（学級）には 様々な子どもたちが集まっている



学校(学級)では様々な個性を持った子どもたちが集まっています。

どの子もみんな長所(得意)、短所(不得意)があり、互いに切磋琢磨しながら生活しています。

どの子どももみんな何かの課題があります。
子どもによって課題は違っています。

子どもによって 課題 (困っていること) は違う

みんな (どの子どもも) 何かの課題がある



小学校は、約30～35人の学級。

みんなで一緒に活動や授業を進めますが担任は……。

- ① 子どもたち一人ひとりの様子をしっかりと把握します。
- ② 一人ひとりに応じた言葉かけや支援をします。



学級担任は30人程度の子どもたちを担当しますが、子どもたちの様子をしっかりと把握し、一人ひとりの課題に応じた言葉かけや支援をしていきます。

<学級担任が、授業の中で行う個別支援の例>

学習する中で担任が行う支援（例）

言葉（文字）の学習が苦手な子どもに（支援例）



教科書にルビをふって読みやすくする

大きなマスのノートを用意し、書きやすくする。

数字の学習が苦手な子どもに（支援例）

- テストをする時に、テスト用紙とは別に計算用紙を持たせる。
- 電卓を使って計算してもよいことにする。



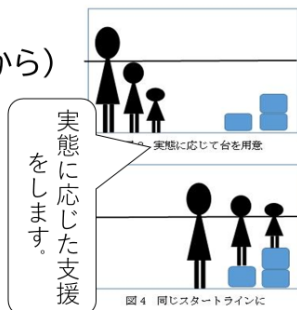
<校内体制としての個別支援方法>

- **特別支援教育支援員** … 教室内で個別に言葉かけをして補足説明をします。
- **にこサポ(非常勤講師)** … 教室とは別の個別学習室で、子どもの課題やペースに合わせて、個別指導を行います。(週1～2時間程度)
- **通級指導教室** … 課題解決のために、より専門的な個別の指導を受けることができます。
 - ・ 授業中に別室で個別指導を行う**巡回指導**
 - ・ 中央小学校で指導を受ける**放課後指導**
- **なかよし(特別支援)学級**での少人数の指導… 少人数での生活や学習が相応しい場合、なかよし学級を部分的に利用する。⇒ 子ども一人ひとりに応じたカリキュラムを組みます。
- ★ **まなびの部屋** … 学びに関する具体的な支援方法を、担任と一緒に検討します。
学びに関する保護者からの相談も可能です。
- ★ **校内支援委員会** … 個々の子どもの課題について、学校全体で具体的支援を検討します。

子どもの課題に応じて、（担任による実態把握から）

保護者と十分に話し合い適切な支援を考えます。

合理的配慮 という。



子どもによって課題が違いますので、保護者と支援について十分に話し合った上で、その子どもに応じた適切な支援を行います。(合理的配慮)

背の高さに合わせて台を用意するように、どの子どももできるようになることを目指します。

学習や友達関係など学校生活において何か心配されることがありましたら、担任までご相談ください。担任をはじめ学年部や支援部で話し合い、適切な支援について検討します。